

をさしだしても少しもとろーとしませぬ。

しばらくすぎて、その男が前のことを忘れてしまつて、ふーぜいの見物と話しながら、象をみて居ると、いつの間にか、象はその男の方にちかよつてきて、ふいに鼻をのぼしてきて、忽ちその男のかぶつて居つた、麥わら帽子をとりさりました。

そーして、その男の前に帽子をだして、その男がこれをつかもーとすると、急にひきこめます。さすがの男も、こんどは大變によわつて、なんべん、となくこれをとるかえそーとしましたが、とーとーれしまひになつて、象はその麥わら帽子をさもうまそーにのんでしまいました。

弟の信一はこれを見てうち笑ひながら、
ねーさん象がかつたね

といひますと、姉のおはなは小聲で、

いたづらをしたからよ

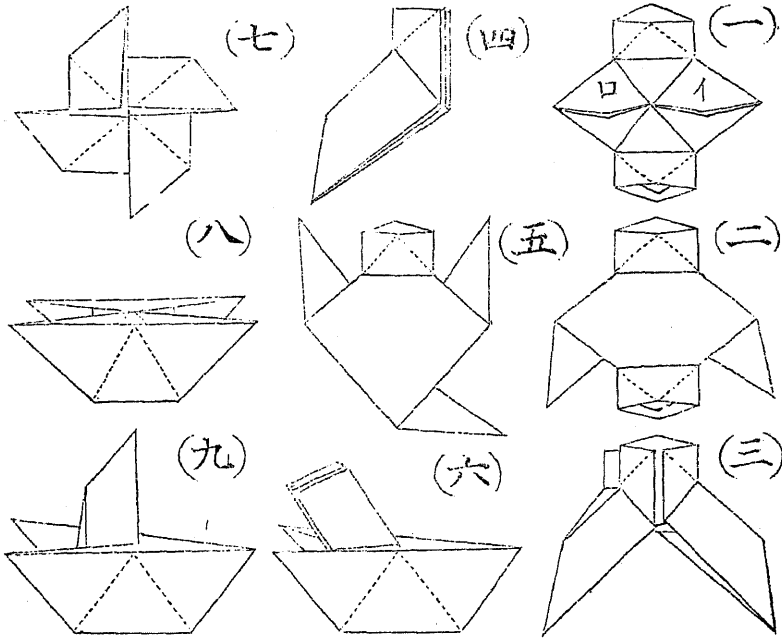
といひました

摺み方

今度の摺み方は、前のついで、第一番は燈籠てこさいます、摺み方は車の通りで、輪になつた所、一圖のイとロとの所を裏かえしにして引き出して、二圖のよーにいたすのです。

その次は股引で、燈籠のまんまかゝら、横に二つに折ると出來ます。(第三圖)
次は足袋で、これは股引を、縦に二つに折ると出來ます。(第四圖)

次は鉄砲船で、これは燈籠のよーに三所引き出し、一所残して五圖のよーにし、イロの線の



通りに、二つに折りますと、六圖のよーになりま
す。

又その次は風車、これは鉄砲船の、一所残し
た所をも、引り出して七圖のよーにいたします。

次は二艘船(八圖)、帆掛船(九圖)ですがこれ
は風車を まんなか、ら折ると出来ます。

工夫してこらんなさい。

狼奇談

やまとの翁

翁の御話に出る狼は、時々狐や何かにだまされ
る様な事があって、至極トンマの様ですけど、真
事の處は、どーして、中々馬鹿には出来ない獣で
あります。

これは獨この話してありますが、オーベルニ